

1. 目的

防災士は、災害時等において、自助、共助、協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を有する人材で、認定特定非営利活動法人日本防災士機構が認証した人です。

住民等が防災士の資格を取得し、地域の防災活動などに取り組んでいただけるよう、県と市町村が連携し、県内で防災士資格の取得ができるように防災士養成研修を開催しました。

2. 日時

令和6年6月8日(土) 9:00～16:20

令和6年6月9日(日) 9:00～16:40 (～17:50 試験)

3. 会場

島根県浜田合同庁舎 大会議室、中会議室 (浜田市片庭町254)

4. 参加者

63人

5. カリキュラム

(1日目)

- ①被害想定とハザードマップ／防災士が行う各種訓練／土砂災害と対策
[島根県土木部砂防課]
- ②救急救命講習
[浜田市消防本部]

(2日目)

- ③地震の仕組みと被害 [島根大学総合理工学部 向吉秀樹 准教授]
- ④津波の仕組みと被害 [島根大学総合理工学部 酒井哲弥 教授]
- ⑤防災士に期待される活動／自主防災活動と地区防災計画
[防災士 山本稔 氏]
- ⑥風水害と対策
[島根大学エスチュアリー研究センター 矢島啓 教授]
- ⑦男女共同参画の視点からの防災・復興
[島根県政策企画局女性活躍推進課]
- ⑧災害関連情報と予報・警報 [松江地方気象台 久家好夫 次長]
- ⑨【試 験】

研修の様子



避難所運営ゲームの様子



救命救急講習の様子



島根大学教授等による講義



防災士による講義

島根県では、自主防災組織などで中心的な役割を担う防災士を養成するため、令和2年度から県主催で防災士養成研修を開催しています。

研修受講者は、市町村から推薦のあった方を対象とし、防災士資格取得後、自主防災組織や地域において、市町村と協力して防災活動等に取り組んでいただきます。